

ナンバリング			授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M314Y201			リハビリテーション概論 (Principle of Rehabilitation)					臨床医工学コース専門分野								
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修		1	1	医学部先進医療科学科	前期	月3	日本語				単独					
担当教員	氏名 朝井 政治															
	E-mail ma-asai@oita-u.ac.jp 内線 7551															
授業の概要	「リハビリテーション」の概念、関係職種、対象者、内容等について解説する。これらを踏まえたうえで、各職種の専門性と他の職種との連携、現在の課題等について、講義、ならびに討議を行う。															
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 「リハビリテーション」の定義、歴史について説明できる										○	○	○		○		
目標2 関連職種の役割を説明できる										○	○	○		○		
目標3 リハビリテーション分野の連携について説明できる										○	○	○	○	○		
目標4 現在の課題と対策について、自分の考えを述べることができる										○	○	○			○	
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)										3	2	2	1	1	1	
授業の内容																
1	リハビリテーションの理念と目的、法令・制度															
2	リハビリテーションの対象となる疾病や身体機能について															
3	リハビリテーションにかかわる専門職の役割と連携															
4	ICFについて：定義、評価方法の解説、演習															
5	リハビリテーションの実際：情報収集・評価															
6	リハビリテーションの実際：治療、リスクマネジメント															
7	事例検討															
8	様々な福祉用具と介助法について															
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
ラーニングポイント	A:知識の定着・確認		事例による演習の実施(グループディスカッション)	工 夫 そ の 他 の	をとおして、 様々な意見をまとめ、発表する。 具体的な事例を提示する											
	B:意見の表現・交換															○
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															○
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		各回の予習、自分の目指す職業の業務、活躍する分野などについて確認しておくこと(1.5時間×8)。													
	事後学修		講義内容の復習、グループディスカッションや課題への取り組み(1.5時間×8)。													
	想定時間合計		24													
教科書	田中栄 ら監修 日本医師会 編 リハビリテーション診療update メジカルレビュー社 2023 ISBN 9784758317894															
参考書	天満和人ら 編集、セラピストのための概説リハビリテーション(第2版) 文光堂、2018 ISBN 9784830645648 馬場元毅 著、絵で見る 脳と神経(第4版) 医学書院、2017 ISBN 9784260027830															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	課題レポート・学修成果物		70%	○	○	○	○						
	グループ討議への参加状況		20%	○	○	○	○						
	小テスト		10%	○	○	○	○						
注意事項	なし												
備考	なし												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	理学療法士												
実務経験を いかした教育内容	リハビリテーション分野での業務経験を活かし模擬症例にて、事例を通じた討議を行う												